

## 設計演習 III

07

## 2. 面構造によるメモリアル空間

[担当教員]

李暎一 (atlier Be・cause・Lee) 竹口健太郎 (アルファヴィル代表)

遠藤秀平 (教授)

[Teaching Assistant (修士1年)]

谷口豪 (A61) 豊田 開 (A61)

## ■課題主旨

メモリアル空間を（面状の構造により）計画する（面状の構造とは柱や梁による線材の架構ではなく、壁面／床面／屋根面の連続により構造躯体として成立するものを言う）。構造計画に関しては厳密な構造計算による根拠は求めないが、モデル検討及び構造力学的見地に立った基本的な考査を必要条件とする。この構造体を構成する材料は石・コンクリート・鉄・ガラス等一般的に流通するものとし、社会的な合意を得られるコストを前提とすること。また、平面計画や建築造形において形態的メタファーによる合意を目的とせず、計画する環境（場・空間）に対して身体的な関心と理解を探求すること。個人を象徴する空間を熟慮し、そこに必要な空間と場の特殊性を構造・構成・構築概念を手がかりに物理的提案として創出する。

## ■概要

各自が社会的実績を勘案し顕彰に値すると判断する人物を選択、その個人のためのメモリアル空間を設計する。敷地の選定においては、選択の必然性を前提とすること。その他必要空間を設定し理想的な外部環境・ランズケープを含めてのメモリアル空間を提案すること。延床面積は2000平米程度とする。

## ■敷地

各自設定。設定した人物にふさわしい敷地を選ぶこと。

## ■提出物

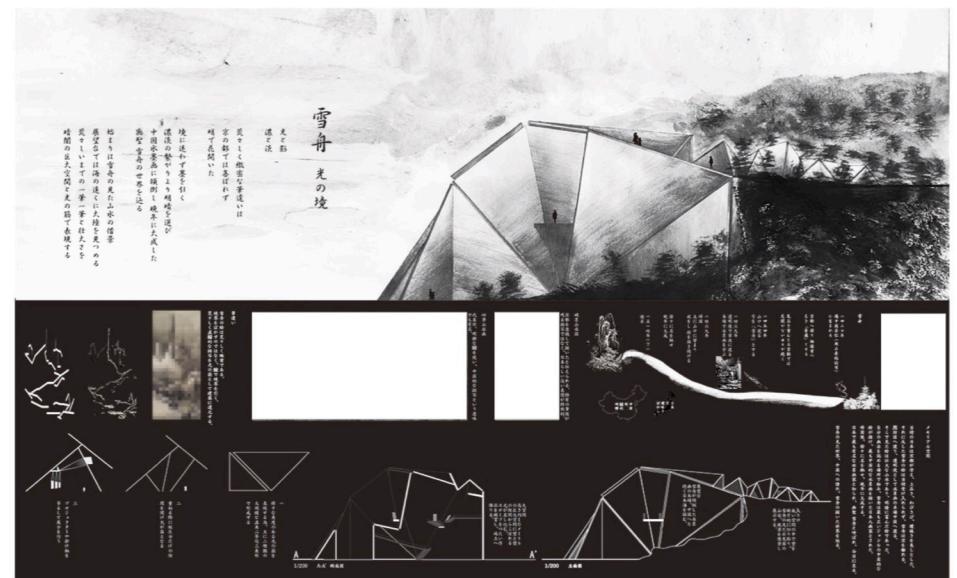
A1図面3～5枚程度、完成モデル1:100、必要図面は各自設定し、第三者に十分な理解を得られることを目的とする。

## 雪舟 -光の境-

崔秋韵

目に映る、ものや風景の境界線に迷わず墨を引く、荒々しく緻密な筆遣いが特徴的な雪舟のメモリアル空間を提案する。

中国水墨画に傾倒し、晩年に大成した画聖 雪舟の世界を辿る。

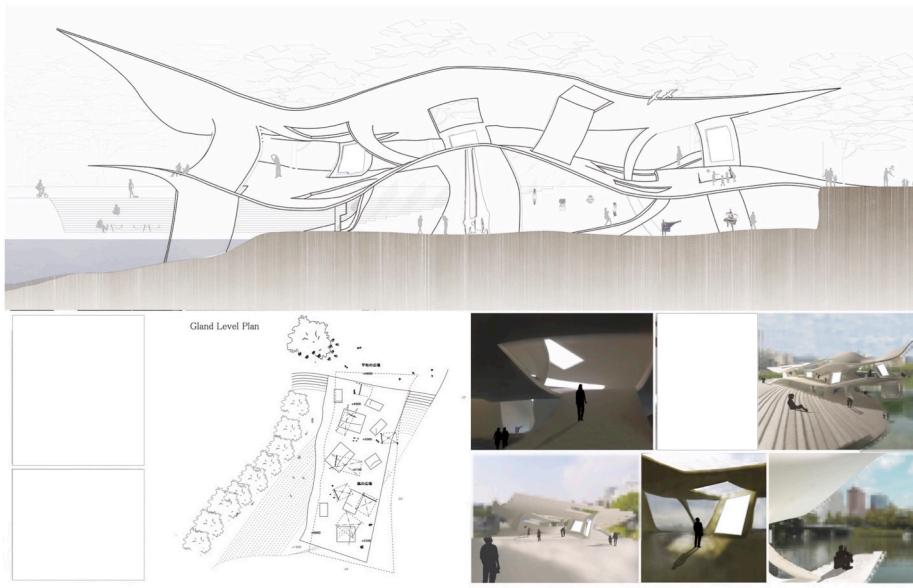


## a piece of architecture

森田久也

“破壊されてしまうものではなく、創造的で、美しさや喜びをもたらすもの”

デザインにそんな想いをこめていた戦後の広島を生きてきた三宅にとってデザインとは平和と希望の象徴であったデザイナー Issei Miyake の出発点となったこの場所に、より多くのひととデザインを繋ぎ、未来の希望へつながるような “一枚の建築” を計画する。



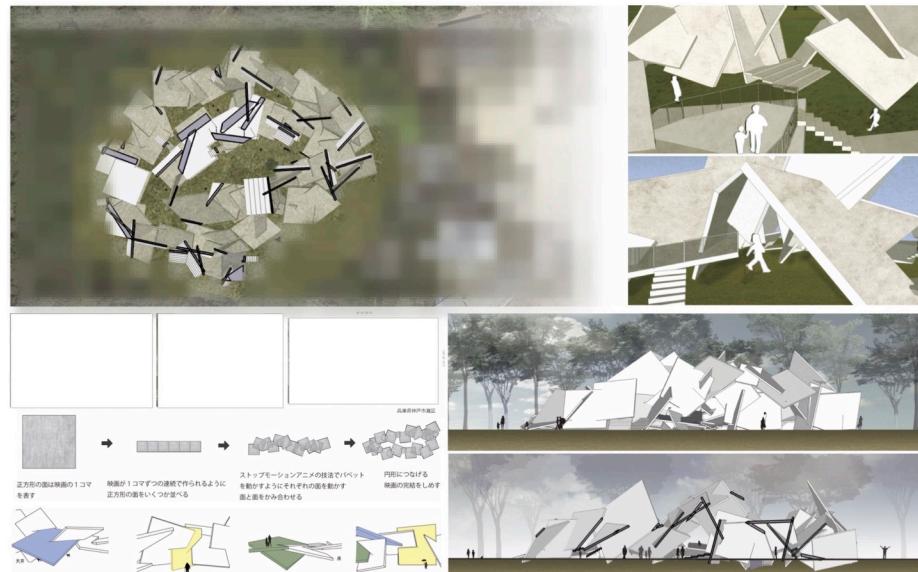
## 1flame Tim Burton のメモリアル空間

中川繪理香

鬼才とも言われる Tim Burton の用いるストップモーションアニメーションという映画の撮影技法をメモリアル空間の構成に利用する。

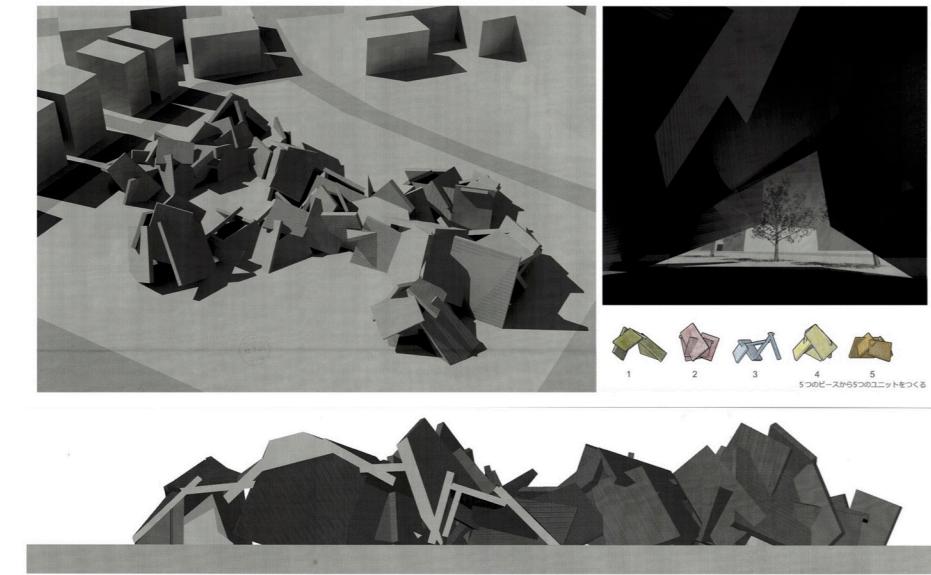
彼のユーモアとダークを併せ持った不気味な世界観を表現する。

この古典的な技法からくられた空間によって自らの子ども時代を思い起こさせる。



## Blank of Architecture

加賀田茂史



## Memorial for MUSASHI

松崎篤子

